

第9款 警 察 費

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 警察管理費	円	円		
2 警察本部費 (P196)	519,181,000 (72,066,630,627)	518,244,445 (71,953,604,628)	警察安全相談員設置事業 (広報応接課)	<p>1 施策の趣旨等 相談に対する知識や経験の豊富な元警察官を警察安全相談員として任用し、府民からの多種多様な相談に迅速・的確に対応することにより、安全で安心なまちづくりを推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 警察本部及び警察署に16人の警察安全相談員を配置して、府民からの各種相談を受理するとともに、相談内容に応じて関係部署に引き継ぐなど、相談案件の早期解決と事件の未然防止を図った。 警察安全相談員の年間相談受理事件数 4,766件 (主な内訳) 生活安全関係(家庭・職場・近隣関係、悪質商法、サイバー犯罪関係等) 3,076件 刑事関係(振り込め詐欺、恐喝、盗難、暴力団関係等) 685</p> <p>3 執 行 額 43,879,140円</p>
			少年非行抑止ネットワーク事業 (少年課)	<p>1 施策の趣旨等 警察本部及び警察署にスクールサポーターを配置し、学校、地域ボランティア、保護者、警察等の行政機関がネットワークを構築して連携することにより、少年非行を抑止する。 指標：非行防止教室実施小中学校数 目標：582校(府内全小中学校) 実績：577校(99.1%)</p> <p>2 施策の実施状況 元警察官42人をスクールサポーターとして採用し、警察本部及び各警察署に配置して、学校や地域ボランティア・PTAと協働した非行防止・立ち直り支援活動等を行うことにより、京都の未来を担う子どもたちの規範意識の向上と教育環境の正常化を図った。 学校訪問(高等学校を含む) 8,903回 指導、助言 5,008 パトロール 22,962回 15,926時間 非行防止教室等開催 2,221</p> <p>3 執 行 額 113,615,858円</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																
	円	円	交番機能強化事業 (地域課)	<p>1 施策の趣旨等 交番相談員を交番に配置し、警察官のパトロールの強化や事件・事故等の対応により交番に警察官が不在の場合でも来訪者に適切な対応ができるようにするほか、地域の防犯アドバイザーとして、子ども・地域安全見守り隊等の自主防犯活動に対する指導連絡や助言を行い、交番の機能強化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 135交番に各1人の交番相談員を配置して、警察官のパトロール時間を確保するとともに、地理案内や遺失・拾得届の受理、交番の出入口付近に立ち、通行人等に対して声かけや道案内等を行う活動、事件又は事故発生時における警察官への連絡を行うなど、交番の円滑な活動に寄与した。また、防犯アドバイザーとして、地域住民の自主的な防犯活動に対する指導連絡及び助言を行った。</p> <table border="0" data-bbox="1108 582 1993 837"> <tr> <td>交番相談員の年間取扱件数</td> <td style="text-align: right;">254,701件</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各種相談受理、事件事故通報</td> <td style="text-align: right;">16,842件</td> </tr> <tr> <td>遺失・拾得届の受理</td> <td style="text-align: right;">29,345</td> </tr> <tr> <td>被害届代書預かり</td> <td style="text-align: right;">370</td> </tr> <tr> <td>各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言</td> <td style="text-align: right;">4,309</td> </tr> <tr> <td>電話による独居高齢者等に対する防犯指導等(いたわりテレホン)</td> <td style="text-align: right;">95,983</td> </tr> <tr> <td>その他来訪者対応(地理案内等)</td> <td style="text-align: right;">107,852</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額 360,749,447円</p>	交番相談員の年間取扱件数	254,701件	(内訳)		各種相談受理、事件事故通報	16,842件	遺失・拾得届の受理	29,345	被害届代書預かり	370	各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言	4,309	電話による独居高齢者等に対する防犯指導等(いたわりテレホン)	95,983	その他来訪者対応(地理案内等)	107,852
交番相談員の年間取扱件数	254,701件																			
(内訳)																				
各種相談受理、事件事故通報	16,842件																			
遺失・拾得届の受理	29,345																			
被害届代書預かり	370																			
各種防犯ボランティア団体に対する指導連絡及び助言	4,309																			
電話による独居高齢者等に対する防犯指導等(いたわりテレホン)	95,983																			
その他来訪者対応(地理案内等)	107,852																			
3 装 備 費 (P198)	49,805,000 (705,245,000)	49,751,974 (699,842,650) 決算額の財源 内訳 府 債 48,000,000 一 般 財 源 1,751,974	危機管理態勢充実・強化事業 (警備第一課)	<p>1 施策の趣旨等 東日本大震災や豪雨災害の教訓を踏まえ、大規模災害発生時に備えて災害警備活動用資機材を整備することにより、総合的な危機管理態勢の充実・強化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 災害現場活動用レスキュー車の整備 迅速・的確な水難救助活動を行うため、水難救助用レスキュー車1台の整備を行った。</p> <p>(2) 災害情報収集用ドローンの整備 災害発生時の迅速・的確な救出救助活動等を行うため、災害情報収集用ドローン6機を整備するとともに、操縦者を養成した。</p> <p>(3) 救助・捜索活動用船外機付きゴムボートの整備 台風や集中豪雨等による水難事故発生時に備え、救助・捜索活動用船外機付きゴムボートの老朽化に伴う更新整備及び新規整備を行った。</p>																

				更新整備 京丹後警察署 1 艘 新規整備 亀岡警察署 1 3 執行額 49,751,974円
4 警察施設費 (P198)	2,567,115,000 (3,479,991,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 157,205,000 (警察本部庁舎建 設費)	2,397,018,809 (3,277,587,881) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 336,470,000 繰越金 5,552,000 諸収入 2,911,644 府債 2,009,000,000 一般財源 43,085,165	警察本部庁舎建設事業 (会計課) 交番・駐在所整備事業 (会計課 警務課 地域課) 府民公募型整備事業 (会計課 交通規制課)	1 施策の趣旨等 災害発生時の拠点施設としての機能を併せ持つ警察本部新庁舎を建設する。 2 施策の実施状況 警察本部庁舎を移転建替するため、建設工事を継続実施した。 3 執行額 654,969,658円 1 施策の趣旨等 女性や地域の力を活かし、地域防犯力を向上させ、安全で安心なまちづくりを推進するため、交番・駐在所の整備を計画的に行い、その機能の充実・強化を図る。 2 施策の実施状況 (1) 機能充実・強化のための再編整備 祇園交番(東山警察署) (2) 女性勤務交番の改修 北大路交番(北警察署) (3) 老朽化交番等の建替整備 篠交番(亀岡警察署) 観音寺駐在所(南丹警察署) (4) 交番移転に伴う内装整備 七条新千本交番(下京警察署) 3 執行額 95,757,132円 1 施策の趣旨等 府民との協働や地域との連携による公共事業をより一層推進するため、府民からの公募等に基づき、地域や市町村と連携し、身近な安心・安全や景観美化のための地域基盤の整備や誰にもやさしいまちづくりを推進する。 2 施策の実施状況 ア 交通信号機の新設 プログラム多段式信号機新設 6基

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																																																										
	円	円		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 75%;">押ボタン式信号機新設</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">3基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歩行者用・車両用灯器増設</td> <td style="text-align: right;">128灯</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>交通信号機の改良整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>歩行者用・車両用灯器LED化</td> <td style="text-align: right;">172灯</td> </tr> <tr> <td></td> <td>信号機多現示化</td> <td style="text-align: right;">3基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>視覚障害者用付加装置</td> <td style="text-align: right;">3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>信号機改修</td> <td style="text-align: right;">28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>押ボタン化</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>信号機移設等</td> <td style="text-align: right;">8</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>道路標識の整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>路側式標識</td> <td style="text-align: right;">2,511本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大型固定反射式標識板</td> <td style="text-align: right;">9枚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>標識移設</td> <td style="text-align: right;">1本</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td>道路標示の整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>横断歩道の設置塗替</td> <td style="text-align: right;">405本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実線標示の設置塗替</td> <td style="text-align: right;">29.61km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図示標示の設置塗替</td> <td style="text-align: right;">647本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自転車横断帯の設置塗替</td> <td style="text-align: right;">166</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>執 行 額</td> <td></td> <td style="text-align: right;">247,527,360円</td> </tr> </table>		押ボタン式信号機新設	3基		歩行者用・車両用灯器増設	128灯	イ	交通信号機の改良整備			歩行者用・車両用灯器LED化	172灯		信号機多現示化	3基		視覚障害者用付加装置	3		信号機改修	28		押ボタン化	1		信号機移設等	8	ウ	道路標識の整備			路側式標識	2,511本		大型固定反射式標識板	9枚		標識移設	1本	エ	道路標示の整備			横断歩道の設置塗替	405本		実線標示の設置塗替	29.61km		図示標示の設置塗替	647本		自転車横断帯の設置塗替	166	3	執 行 額		247,527,360円
	押ボタン式信号機新設	3基																																																												
	歩行者用・車両用灯器増設	128灯																																																												
イ	交通信号機の改良整備																																																													
	歩行者用・車両用灯器LED化	172灯																																																												
	信号機多現示化	3基																																																												
	視覚障害者用付加装置	3																																																												
	信号機改修	28																																																												
	押ボタン化	1																																																												
	信号機移設等	8																																																												
ウ	道路標識の整備																																																													
	路側式標識	2,511本																																																												
	大型固定反射式標識板	9枚																																																												
	標識移設	1本																																																												
エ	道路標示の整備																																																													
	横断歩道の設置塗替	405本																																																												
	実線標示の設置塗替	29.61km																																																												
	図示標示の設置塗替	647本																																																												
	自転車横断帯の設置塗替	166																																																												
3	執 行 額		247,527,360円																																																											
			交通安全施設整備事業 (交通規制課)	<p>1 施策の趣旨等 交通事故の抑止と交通の円滑化による交通渋滞や交通公害の減少を図るため、交通安全施設の計画的な整備を行い、安全な交通環境の実現を図る。</p> <p>指標：交通事故発生件数 目標：7,000件以下 実績：7,145件</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 補 助 事 業</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 75%;">ア 交通管制システムの整備</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>交通管制センター整備</td> <td style="text-align: right;">二式</td> </tr> <tr> <td></td> <td>集中制御機</td> <td style="text-align: right;">25基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>情報収集装置</td> <td style="text-align: right;">二式</td> </tr> <tr> <td></td> <td>情報収集提供装置</td> <td style="text-align: right;">16基</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>交通信号機の新設</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>プログラム多段式信号機新設</td> <td style="text-align: right;">2基</td> </tr> </table>		ア 交通管制システムの整備			交通管制センター整備	二式		集中制御機	25基		情報収集装置	二式		情報収集提供装置	16基	イ	交通信号機の新設			プログラム多段式信号機新設	2基																																					
	ア 交通管制システムの整備																																																													
	交通管制センター整備	二式																																																												
	集中制御機	25基																																																												
	情報収集装置	二式																																																												
	情報収集提供装置	16基																																																												
イ	交通信号機の新設																																																													
	プログラム多段式信号機新設	2基																																																												

				押ボタン式信号機	1 基
				歩行者用・車両用灯器増設	26灯
			ウ	交通信号機の改良整備	
				信号機プログラム多段系統化	4 基
				信号機プログラム多段化	20
				信号機押ボタン化	9
				歩車分離化	1
				信号機多現示化	2
				視覚障害者用付加装置	8
				歩行者用・車両用灯器 L E D 化	44灯
				信号機移設等	10基
			エ	道路標識の整備	
				路側式標識（高輝度）	630本
			オ	道路標示の整備	
				横断歩道の塗替	21. 80km
				実線標示の塗替	12. 82
			(2) 単 独 事 業		
			ア	交通管制システムの整備	
				交通管制センター整備	二式
				交通管制情報線改修等	54本
			イ	交通信号機の新設	
				歩行者用・車両用灯器増設	10灯
			ウ	交通信号機の改良整備	
				歩行者用・車両用灯器 L E D 化	36灯
				信号機多現示化	4 基
				視覚障害者用付加装置	1
				信号機改修	61
				信号機電源付加装置	58
				道路の森改修	2
				信号機移設等	48
			エ	道路標識の整備	
				路側式標識	3, 644本
				オーバーハング反射式標識板	4
				大型固定反射式標識板	22
				標識の建植手入れ	一式
			オ	道路標示の整備	
				横断歩道の設置塗替	779本
				実線標示の設置塗替	8. 71km
				図示標示の設置塗替	1, 811本
				自転車横断帯の設置塗替	215

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p style="text-align: center;">道路標示の消 力 交通信号機等の維持管理</p> <p style="text-align: right;">2.68km 一式</p> <p>3 執 行 額 1,398,764,659円</p>
<p>2 警察活動費</p> <p>1 警察活動費 (P200)</p>	<p>165,151,000 (2,103,395,800)</p>	<p>162,094,460 (2,094,699,960)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 27,400,453 一般財源 134,694,007</p>	<p>犯罪被害者等支援活動 推進事業 (警務課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 犯罪被害者等の権利利益の保護を図るため、犯罪被害者等基本法、第3次犯罪被害者等基本計画に基づき各種施策を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 関係機関・団体との連携及び社会全体で犯罪被害者等をサポートする気運を醸成した。 京都府犯罪被害者支援連絡協議会の運営</p> <p>(2) 被害者支援の確実な実施のために相談受理体制の充実と効果的な広報啓発活動を行った。</p> <p>ア 性犯罪相談ダイヤル「ハートさん」等の各種相談窓口の運用 イ 被害者相談窓口広報用のウェットティッシュや警察における被害者支援の広報用リーフレットを活用した広報啓発活動の実施 (主な広報啓発活動) 府警音楽隊定期演奏会等における広報啓発活動 地域イベント、街頭等における広報啓発活動 学校、大学における広報啓発活動 警察署単位犯罪被害者支援連絡協議会における広報啓発活動 生命のメッセージ展、ゼスト御池におけるパネル展の開催 京都府犯罪被害者支援連絡協議会会員等と協働した京都駅前における広報啓発活動</p> <p>(3) 身体犯被害者・性犯罪被害者等の診断書料等に係る経費を公費負担し、被害者等の経済的負担の軽減を図った。</p> <p>ア 身体犯被害者に対する初診料、診断書料 イ 性犯罪被害者に対する初診料、診断書料等 ウ 精神科医師の診察料等 エ 司法解剖後における死体検案書料 オ 司法解剖後における遺体修復料</p> <p>3 執 行 額 3,417,112円</p>

			<p>Welcome Kyoto Project 事業 (警務課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 急増する訪日外国人が当事者となる事件事故や遺失拾得、地理案内等の様々な警察事象に迅速・的確に対応し、府民も訪日外国人等も京都の良好な治安を等しく体感できる環境を整備する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 雑踏警備等の現場において、英語等の素養を持つ警察職員を集中配置して事案に的確に対応する国際警察の体制整備を行った。 ア 活動拠点用車両1台、現場広報用可搬式電光表示板1台 イ デザインジャンパー・ベストの整備</p> <p>(2) 日本語を解さない外国人からの急訴、各種届出等に対応するための資機材等を訪日外国人等の来所が多い交番等に整備し、コミュニケーションの円滑化を図った。 ア 外国語翻訳タブレット27台 イ 24時間多言語コールセンターの活用による申告概要の把握</p> <p>(3) 防犯・防災情報や遺失届・拾得届の受理のほか、日本の制度・手続等、警察活動に係る情報の入手が容易にできる環境を整備し、訪日外国人等に対する伝達手段の強化を図った。 ア 京都府警察ホームページ(一部)の英語・中国語(簡体字)・ハングルへの翻訳 イ 多言語防犯リーフレット48,000枚 ウ 多言語メガホン型翻訳機5台</p> <p>3 執行額 10,834,985円</p>
			<p>身近な犯罪を許さない 社会づくり推進事業 (生活安全企画課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 刑法犯少年の検挙・補導人員の中で高い割合を占める万引き・自転車盗等の身近な犯罪の発生を抑えるため、住民、事業者、行政との協働による抑止活動を推進する。</p> <p>指標：刑法犯認知件数 目標：前年(平成28年中20,479件)以下 実績：18,603件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都府万引き防止対策推進協議会加盟店舗等と連携し「万引き防止キャンペーン」を実施するとともに、各店舗に対して万引き防止ポスターを掲示すること等により万引きを許さない社会気運を醸成した。 ア 万引き防止キャンペーンの実施 (主な取り組み) 四條繁栄会におけるキャンペーン(下京警察署) イオンモール京都桂川における防犯ボランティアと連携したキャンペーン(南警察署) ミュー阪急桂における高校生と連携したキャンペーン(西京警察署)</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等												
	円	円		<p>イ 啓発ポスターの掲示 京都府万引き防止対策推進協議会会員店舗等 2,000枚</p> <p>ウ 万引き防止ミラーステッカーの掲示 京都府万引き防止対策推進協議会会員店舗等 1,500枚</p> <p>(2) 自転車盗の抑止を目的とした「鍵 - 1 グランプリPREMIUM」の実施により、中高生の規範意識、防犯意識を醸成した。</p> <p>ア 参加状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">学校対抗鍵かけコンテスト参加校（高等学校対象）</td> <td style="text-align: right;">74校</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">鍵 - 1 クイズ選手権参加校（中学校対象）</td> <td style="text-align: right;">42</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">鍵かけイラストコンテスト応募数（大学生対象）</td> <td style="text-align: right;">55作品</td> </tr> </table> <p>イ 鍵かけイラスト入りポスターの掲示 府内全中学校、高校、マクドナルド、パナソニック等 2,000枚</p> <p>ウ 中高生を対象とした自転車盗被害防止キャンペーンの実施 （主な取り組み） 洛北高校通学路における高校生と連携したキャンペーン（下鴨警察署） 木津高校通学路における高校生と連携したキャンペーン（木津警察署） 与謝野町立江陽中学校通学路における中学生と連携したキャンペーン（宮津警察署）</p> <p>(3) 学生・現役世代による防犯ボランティア活動を促進するため、活動用ベスト等の物的支援や防犯ボランティア保険への加入支援を行った。 （学生防犯ボランティアの主な活動実績）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">啓発活動</td> <td style="text-align: right;">76回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">パトロール</td> <td style="text-align: right;">35</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">防犯教室</td> <td style="text-align: right;">22</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額 5,141,361円</p>	学校対抗鍵かけコンテスト参加校（高等学校対象）	74校	鍵 - 1 クイズ選手権参加校（中学校対象）	42	鍵かけイラストコンテスト応募数（大学生対象）	55作品	啓発活動	76回	パトロール	35	防犯教室	22
学校対抗鍵かけコンテスト参加校（高等学校対象）	74校															
鍵 - 1 クイズ選手権参加校（中学校対象）	42															
鍵かけイラストコンテスト応募数（大学生対象）	55作品															
啓発活動	76回															
パトロール	35															
防犯教室	22															
			<p>ストーカー相談支援センター設置事業 （人身安全対策課）</p>	<p>1 施策の趣旨等 ストーカー認知件数の増加等を踏まえ、ストーカー事案に特化した相談センターを設置する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 重大事件への発展を未然に防止するため、ストーカー事案の被害者のみならず加害者等の幅広い対象から早期に相談を受理することが可能となる全国初のストーカーに特化した専門の相談窓口を平成29年11月24日に開設した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">相談受理件数</td> <td style="text-align: right;">221件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">内訳 電話相談</td> <td style="text-align: right;">188</td> </tr> </table>	相談受理件数	221件	内訳 電話相談	188								
相談受理件数	221件															
内訳 電話相談	188															

				<p>メール相談 29件 面接相談 4</p> <p>(2) 関係機関と連携し、ストーカー加害者に対するカウンセリングを実施して、被害者に対する執着心や支配意識の除去を図り、被害者の保護対策を行った。 加害者カウンセリングの実施回数 19回(6人)</p> <p>3 執行額 2,378,497円</p>
			ヤミ民泊対策事業 (生活保安課)	<p>1 施策の趣旨等 民泊の現状や問題点について、関係機関との間で緊密に情報共有を図るとともに、指導に従わない悪質な民泊事業者等に対する取締強化に対応するための資機材を整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 インターネット上におけるヤミ民泊情報の収集、分析を目的として、インターネット端末9台を本部生活保安課及び府内7警察署に配備するとともに、行政指導に従わない悪質なヤミ民泊事業者等を旅館業法違反で検挙した。</p> <p>3 執行額 1,229,118円</p>
			青少年に対するサイバー犯罪被害防止対策事業 (サイバー犯罪対策課) 少年課	<p>1 施策の趣旨等 サイバー犯罪から青少年を守るための対策を実施するとともに、複雑、多様化、増加するサイバー犯罪に対する捜査体制の強化を図る。</p> <p>指標：警察職員やネット安心アドバイザー等によるサイバー犯罪被害防止講演の実施回数 目標：1,800回以上 実績：2,257回(平成29年中)</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 青少年のネット問題等に専門的知識を有する大学准教授等を「ネット安心アドバイザー」として登録し、府内の高等学校等においてサイバー犯罪被害防止に係る講演を実施し、青少年のネットモラルの醸成や、ネットトラブル対応能力の向上を図った。 実施回数 123回 アドバイザー登録数 21人</p> <p>(2) 援助交際等のインターネット上の不適切な書き込みをサイバーパトロールで発見し、児童と接触して補導する「サイバー補導」を実施することで、児童の被害の未然防止を行った。</p> <p>ア サイバー補導取組状況 交信回数 51回 不適切な書き込みの発見 109件 現場接触の実施 1</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		
			予測型犯罪防御システム活用事業 (刑事企画課)	<p>イ サイバー補導実施状況 補導人員 1人</p> <p>3 執 行 額 2,565,507円</p> <p>1 施策の趣旨等 高度な犯罪分析機能により犯罪予測を行い、的確なパトロールコースの選定や府民への効果的な情報発信による犯罪抑止活動を強化するとともに、犯罪の早期検挙を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 犯罪予測を活用した府民との協働パトロール等を実施するとともに、犯罪予測エリアでの重点的な犯罪抑止活動の実施や、先制的な検挙活動による自転車盗やオートバイ盗を始めとした窃盗事件の検挙、刑法犯認知件数の減少等、検挙・予防の両面で成果を挙げた。</p> <p>3 執 行 額 97,662,757円</p>
			特殊詐欺被害撲滅総合対策事業 (刑事企画課)	<p>1 施策の趣旨等 被害件数・被害額ともに依然として高水準で推移している特殊詐欺被害の撲滅に向け、犯行抑止対策や金融機関等と連携した被害未然防止対策を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 犯人グループが使用する電話に集中的に電話を架け続け、その使用を事実上不能とする「集中架電システム」の運用を開始して、犯行ツール対策の強化を図った。 対象犯行使用電話回線 264回線 集中架電回数 約388万回</p> <p>(2) 金融機関窓口で活用する声掛けチェックシートや無人A T M機に掲示する啓発ポップパネル等を府内の全金融機関に配布して、被害未然防止対策の強化を図った。 金融機関窓口用声掛けチェックシート 7,750枚 無人A T M機用ポップパネル 10,000</p> <p>(3) 「特殊詐欺特別警報(サギ・レッド・アラート)」発令時の注意喚起を効果的に行うため、パトカーに貼付する広報用マグネットシートや金融機関に掲示する垂れ幕等を整備して、官民一体となった被害の水際阻止の強化を図った。 広報用マグネットシート 650枚 金融機関用広報啓発物品(垂れ幕、腕章及びタスキ) 14,300点</p> <p>3 執 行 額 16,138,230円</p>

			<p>危機管理態勢充実・強化事業 (警備第一課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 東日本大震災や豪雨災害の教訓を踏まえ、大規模災害発生時に備えて災害警備活動用資機材を整備することにより、総合的な危機管理態勢の充実・強化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 放射線防護資機材の点検整備 原子力関連事故等発生時の部隊活動に必要となる放射線防護資機材(サーベイメータ、個人線量計)の点検整備を実施した。 サーベイメータ 表面用 48台、空間用 47台 個人線量計 1,098台</p> <p>(2) 災害活動用ヘルメットの整備 災害警備部隊の活動時に部隊員の頭部を保護するため、災害活動用ヘルメット198個の整備を行った。</p> <p>3 執 行 額 22,726,893円</p>
--	--	--	----------------------------------	---